岡山大学病院麻酔科専門研修プログラム

1. 専門医制度の理念と専門医の使命

① 麻酔科専門医制度の理念

麻酔科専門医制度は，周術期の患者の生体管理を中心としながら，救急医療や集中治療における生体管理，種々の疾病および手術を起因とする疼痛・緩和医療などの領域において，患者の命を守り，安全で快適な医療を提供できる麻酔科専門医を育成することで，国民の健康・福祉の増進に貢献する．

② 麻酔科専門医の使命

麻酔科学とは，人間が生存し続けるために必要な呼吸器・循環器等の諸条件を整え，生体の侵襲行為である手術が可能なように管理する生体管理医学である．麻酔科専門医は，国民が安心して手術を受けられるように，手術中の麻酔管理のみならず，術前・術中・術後の患者の全身状態を良好に維持・管理するために細心の注意を払って診療を行う，患者の安全の最後の砦となる全身管理のスペシャリストである．同時に，関連分野である集中治療や緩和医療，ペインクリニック，救急医療の分野でも，生体管理学の知識と患者の全身管理の技能を生かし，国民のニーズに応じた高度医療を安全に提供する役割を担う．

2. 専門研修プログラムの概要と特徴

- 本研修プログラムは専門研修基幹施設である岡山大学病院を中心とするローテーションを組むことにより，4年間で十分な知識・技術・態度を備えた麻酔科専門医を育成する事はもちろん，さらには将来的な大学院進学，海外・国内留学，サブスペシャルティ（集中治療，ペインクリニック，救急，臓器移植の周術期管理や小児心臓手術の麻酔・周術期管理など）の獲得をサポートすることを目的とする．
- 本研修プログラムは約40施設が連携することにより，専攻医が様々な地域において，十分な指導体制のもとで多種多様な症例を経験でき，整備指針に定められた麻酔科研修の到達目標を達成できる．
- 中四国地方を中心に，関東，関西など全国各地にある連携施設での研修が可能で，各地域での中核病院での研修と大学病院での研修を組み合わせることができる．
- 大学病院を中心としたローテーションの中で，早期より研究や学会活動に触れる機会を多く設け，リサーチマインドを持った医師を育成する．
- 定期的な抄読会，症例検討会，カンファレンスを開催し，知識の裏付けのある

臨床を実践できる医師を育成する.

- 岡山大学病院を中心にプログラム全体の専攻医が参加できる勉強会を随時開催し，新しい知識を得るとともに専攻医同士が情報交換できる機会を設ける.
- 麻酔科専門研修プログラム全般に共通する研修内容の特徴などは別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に記されている.

3. 専門研修プログラムの運営方針

- 研修4年間のうちの1年間は（最短でも6か月間）専門研修基幹施設である岡山大学病院での研修を行うこととする．また，専門研修連携施設で6か月間以上（最短でも3か月間）の研修を行うこととする.
- 研修内容・進行状況に配慮して，プログラムに所属する全ての専攻医が経験目標に必要な特殊麻酔症例数を達成できるように，ローテーションを構築する.
- すべての領域を満遍なく回るローテーションを基本とするが，小児診療を中心に学びたい者へのローテーション，ペインクリニックを学びたい者へのローテーション，集中治療を中心に学びたい者へのローテーション，大学院進学を組み合わせたローテーションなど，専攻医のキャリアプランに合わせたローテーションも考慮する.
- 大学院進学と組み合わせた研修を可能とし，希望者には専門医と並行して，学位取得も目標とするローテーションを組む.

研修実施計画例

	A	B	C	D
初年度前期	本院	初期研修を行った地域の拠点病院	満遍なく症例を経験できる総合病院	本院（大学院）
初年度後期	本院	初期研修を行った地域の拠点病院	満遍なく症例を経験できる総合病院	本院（大学院）
2年度前期	心臓麻酔の研修が可能な病院	本院	満遍なく症例を経験できる総合病院	本院（大学院）
2年度後期	心臓麻酔の研修が可能な病院	本院	満遍なく症例を経験できる総合病院	本院（大学院）

3年度前期	心臓麻酔の研修が可能な病院	心臓麻酔の研修が可能な病院	満遍なく症例を経験できる総合病院	本院（大学院）
3年度後期	小児の研修が可能な病院	心臓麻酔の研修が可能な病院	満遍なく症例を経験できる総合病院	本院（大学院・学位取得）
4年度前期	小児の研修が可能な病院	小児の研修が可能な病院	本院（大学院進学）	総合病院
4年度後期	本院（ペインまたは集中治療，移植手術や小児心臓手術などの特殊麻酔の研修，大学院進学準備）	小児の研修が可能な病院	本院（大学院進学）	総合病院

週間予定表

本院麻酔ローテーションの例（平日当直の場合）

	月	火	水	木	金	土	日
午前	手術室	手術室	手術室	手術室	手術室	休み	休み
午後	手術室	術前外来	手術室	休み	手術室	休み	休み
当直			当直				

ただし，休日に当直を行う場合もある．

4. 研修施設の指導体制

① 専門研修基幹施設

岡山大学病院

研修実施責任者：森松　博史

専門研修指導医：森松　博史（麻酔，集中治療）
岩﨑　達雄（麻酔，集中治療）
清水　一好（麻酔，集中治療）
松岡　義和（麻酔，集中治療）
金澤　伴幸（麻酔，集中治療）
鈴木　聡（麻酔，集中治療）
谷　真規子（麻酔，集中治療，医学教育）
荒川　恭佑（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
岡原　修司（麻酔，集中治療）
清水　達彦（麻酔，集中治療）
伊加　真士（麻酔，集中治療）
大岩　雅彦（麻酔，集中治療）
片山　明（麻酔，集中治療）
佐倉　考信（麻酔，集中治療）
須江　宣俊（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
河野　圭史（麻酔，集中治療）
木村　貴一（麻酔，集中治療）
根ケ山　諒（麻酔，集中治療）
山﨑　友輔（麻酔，集中治療）

認定病院番号:23

特徴：小児心臓手術や臓器移植手術（肺，肝，腎）などの高度先進医療に加えて，食道手術や呼吸器外科手術における分離肺換気など特殊麻酔症例も数多く経験できる．また麻酔のみならず，小児を含む集中治療（20床），ペインクリニックの研修も可能である．また周術期管理センターが確立しており，多職種による周術期チーム医療システムを学ぶこともできる．

②　専門研修連携施設

岡山赤十字病院

研修実施責任者：奥　格

専門研修指導医：奥　格（麻酔，集中治療）
谷西　秀紀（麻酔，集中治療）
岩崎　衣津（麻酔，集中治療）
石井　瑞恵（麻酔，ペインクリニック）
三枝　秀幸（麻酔，集中治療）
石川　友規（麻酔，ペインクリニック）
赤澤　杏奈（麻酔，集中治療）

認定病院番号:365

特徴：2026年度集中治療科専門医研修施設認定.
ペインクリニック研修可能.

津山中央病院

研修実施責任者：萩岡　信吾

専門研修指導医：萩岡　信吾（麻酔，集中治療）
明賀　翔平（麻酔，集中治療）
井上　悠希（麻酔，集中治療）

認定病院番号:921

特徴：救急，集中治療のローテーション可能.

国立病院機構　岡山医療センター

研修実施責任者：野上　悟史

専門研修指導医：野上　悟史（麻酔）
西村　裕子（麻酔）
檀浦　徹也（麻酔）
山之井　智子（麻酔）
米澤　みほこ（麻酔，集中治療，心臓麻酔，小児麻酔）

認定病院番号:96

特徴：心外，脳外，産科，小児など含め各科の麻酔が万遍なく学べる.

岡山市立市民病院

研修実施責任者：川西　進

専門研修指導医：川西　進（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
渡邊　陽子（麻酔，集中治療）
大谷　晋吉（麻酔，集中治療）
中村　龍（麻酔，集中治療）
成谷　俊輝（麻酔，集中治療）

認定病院番号:662

特徴：日本専門医機構集中治療科専門研修施設です．また，ペインクリニック外来を週３日開設しており，日本ペインクリニック学会指定研修施設です.

岡山労災病院

研修実施責任者：齋藤　智彦

専門研修指導医：齋藤　智彦（麻酔）
大森　恵（麻酔）
岡﨑　信樹（麻酔）
篠井　尚子（麻酔，集中治療）
村上　史高（麻酔）
西谷　恭子（麻酔）

認定病院番号:528

特徴：当院外科系診療科の麻酔管理をバランスよく経験できるとともに，当院の特徴である悪性中皮腫に対する胸膜剥皮術や小児の先天性側弯症などの手術に対する麻酔管理を経験することが可能.

岡山済生会総合病院

研修実施責任者：難波　研二

専門研修指導医：難波　研二（麻酔）
川上　直哉（麻酔，集中治療）
赤木　洋介（麻酔）
大倉　靖子（麻酔，集中治療）
小林　洋二（麻酔）
物部　容子（麻酔）
馬場　三和（麻酔，ペインクリニック）
三好　亜希子（麻酔）

門田　奈実（麻酔）
伏見　美紀（麻酔）
依田　智美（麻酔）
兼田　瑞穂（麻酔）

認定病院番号:657

特徴：集中治療のローテーション可能（日本集中治療医学会専門医研修施設）.
da Vinci手術（前立腺・腎，上部・下部消化管，肝胆膵，肺，食道，婦人科）.
口腔外科手術.

<u>香川県立中央病院</u>

研修実施責任者：平崎　盟人
専門研修指導医：平崎　盟人（麻酔，集中治療）
谷津　祐市（麻酔，集中治療）
井上　一由（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
大西　淳司（麻酔，集中治療）
大西　藍（麻酔）
小畑　ダニエル（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
黒江　泰利（麻酔，集中治療）

認定病院番号:150

特徴：麻酔科専門研修に必要な各分野の麻酔症例をカバーできる.
Closed ICUでの研修可能.

<u>香川労災病院</u>

研修実施責任者：戸田　成志
専門研修指導医：戸田　成志（麻酔，集中治療）
鈴木　勉（麻酔，集中治療）
合田　慶介（麻酔，集中治療）
藤田　裕子（麻酔）
谷　美里（麻酔，集中治療）
安田　今日子（麻酔，集中治療）
白川　拓（麻酔，集中治療）
横北　沙織（麻酔，集中治療）

認定病院番号:275

特徴：　集中治療のローテーション可能.

福山市民病院

研修実施責任者：日高　秀邦

専門研修指導医：日高　秀邦（麻酔一般）
安保　佳苗（麻酔一般，特に心臓血管麻酔）
石井　賢造（集中治療（専従））
荒井　麻耶（麻酔一般）
小坂　真子（麻酔一般，特に産科麻酔）

認定病院番号:725

特徴：広い範囲の手術が行われており，専門医取得に必要な症例が全て経験可能です．当科は院内患者を対象とした12床の集中治療室の管理を担当しています．集中治療室は院内発生の重症患者や開心術，食道外科，呼吸器外科，肝胆膵外科，頭頚部などの大手術後の患者を診療しています．救急救命センターを併設しており，外傷患者の手術も経験できます．救急救命センターのICU，HCUは専従の11名の救急科医師が管理しています．がん拠点病院でもあり，ペインクリニックはがん性疼痛を主に診療しています．また，当院は日本集中治療医学会専門医研修施設，日本心臓血管麻酔学会心臓血管麻酔専門医認定施設で，各専門医取得のための研修が可能です．産科麻酔にも力を入れており無痛分娩を学ぶこともできます．

国立病院機構　福山医療センター

研修実施責任者：友塚　直人

専門研修指導医：友塚　直人（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
小山　祐介（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
高野　洋平（麻酔，集中治療）
西本　れい（麻酔）
村上　裕亮（麻酔）

認定病院番号:734

特徴：小児，産科麻酔の症例が豊富です．日本集中治療医学会認定専門医研修施設に登録されており，集中治療専門医取得に向けての研修も可能です．

広島市立広島市民病院

研修実施責任者：藤中　和三

専門研修指導医：藤中　和三（麻酔，集中治療）
大宮　浩揮（麻酔，集中治療）
後藤　隆司（麻酔，集中治療）

寺田　統子（麻酔，集中治療）
宮本　将（麻酔，集中治療）
田窪　一誠（麻酔，集中治療）
橘　薫（麻酔，集中治療）
松本　森作（麻酔，集中治療）
木戸　浩司（麻酔，集中治療）
菊地　佳枝（麻酔，集中治療）

認定病院番号170

特徴：小児心臓手術・TAVI等を含めた心臓血管外科症例・各科がん症例・小児症例・周産期症例が豊富で，手術症例数は中四国で一二を争う数です．無痛分娩も行っています．ICUはクローズドで麻酔科医が主治医となる主体的集中治療を行っていて，RRSも運営しています．

<u>姫路赤十字病院</u>

研修実施責任者：山岡　正和
専門研修指導医：山岡　正和（麻酔，集中治療）
岡部　大輔（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
南　絵里子（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
西村　健吾（麻酔，集中治療）
小橋　真司（麻酔，ペインクリニック）
本庄　郁子（麻酔，ペインクリニック）
門馬　和枝（麻酔，ペインクリニック）
岡﨑　結里子（麻酔，集中治療）

認定病院番号:776

特徴：麻酔専門医取得のための特殊麻酔（小児，心臓血管外科，帝王切開など）の習得はもちろん，集中治療，ペインクリニック，緩和ケアまで専従して学べる体制を整えています．

<u>神戸赤十字病院</u>

研修実施責任者：溝上　良一
専門研修指導医：溝上　良一（麻酔，集中治療）
杉山　淳一（麻酔，救急）
熊田　雄太（麻酔，心臓血管麻酔）
植村　真弓（麻酔）

認定病院番号:1059
特徴：救急に力を入れている病院であり，また，兵庫県災害医療センターが併設されていることもあり，緊急手術が多いという特徴がある．特に整形外科（外傷，脊椎）と心臓血管外科の緊急手術を多数経験することができる．予定手術患者に対しては術前外来を行い，重症症例に関しては術後集中治療室での管理を行うことで，術前から術後まで一貫した周術期管理を学ぶことができる．

国立病院機構　岩国医療センター

研修実施責任者：上原　健司
専門研修指導医：上原　健司（麻酔，集中治療）
熊野　夏美（麻酔）
西　公香（麻酔）

認定病院番号:1343
特徴：救命救急センターを併設した地域医療の要となる病院であり，心臓血管麻酔の研修も可能である．

鳥取市立病院

研修実施責任者：樋口　智康
専門研修指導医：樋口　智康（麻酔，集中治療）
浅雄　保宏（麻酔，集中治療）
清水　貴志（麻酔，集中治療，救急）

認定病院番号：599
特徴：高齢者麻酔が多い．

社会医療法人近森会近森病院

研修実施責任者：杉本　健太郎
専門研修指導医：杉本　健太郎（麻酔，集中治療）
野島　宏悦（麻酔，集中治療）
中谷　真大（麻酔，集中治療）
上坪　知世（麻酔）

認定病院番号　413
特徴：心臓麻酔症例が豊富．

高知医療センター

研修実施責任者：鬼頭　英介

専門研修指導医：鬼頭　英介（麻酔，集中治療）
山下　幸一（麻酔）
濱田　暁（麻酔，集中治療）
大澤　さやか（麻酔）
濵口　英佑（麻酔，集中治療）
濱田　奈保（麻酔，集中治療）
石田　彩子（麻酔）
山本　賢太郎（麻酔，ペインクリニック）
武市　桃子（麻酔）

認定病院番号：66

特徴：集中治療（救急，術後，重症コロナ患者管理），ペインクリニックのローテーション可能.

国立がん研究センター中央病院

研修実施責任者：佐藤　哲文

専門研修指導医：佐藤　哲文（麻酔，集中治療）
松三　絢弥（麻酔，集中治療）
小坂　順子（麻酔，集中治療）
川口　洋佑（麻酔，集中治療）
大額　明子（麻酔）
大石　悠理（麻酔，集中治療）
重松　美沙子（麻酔，集中治療）
塩路　直弘（麻酔，集中治療）
佐々木　咲子（麻酔）
榎本　有希（麻酔，集中治療）

認定病院番号：43

特徴：東京都中心部に位置するがん治療・がん研究の拠点病院で，悪性腫瘍手術全般，特に胸部腹部外科手術の麻酔管理を研修することができる．集中治療部の研修も可能である.

川崎医科大学総合医療センター

研修実施責任者：大橋　一郎

専門研修指導医：大橋　一郎（麻酔，集中治療，区域麻酔）
中塚　秀輝（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
落合　陽子（麻酔，集中治療，老年麻酔）
林　真雄（麻酔，集中治療，心臓血管麻酔）
吉田　悠紀子（麻酔，集中治療，区域麻酔）
川口　勝久（麻酔，集中治療，心臓血管麻酔）
道田　将章（麻酔，集中治療）

認定病院番号:211

特徴：地域の基幹病院として指導医数も充実しており，心臓血管外科，呼吸器外科，消化器外科，脳神経外科，内視鏡手術（ロボット手術を含む）等の大手術や神経ブロックを併用した整形外科手術の麻酔管理を研修することができる.
集中治療室も麻酔科が主体となって管理しているため重症患者管理を研修することができる.

一般財団法人　倉敷成人病センター

研修実施責任者：楠戸　和仁
専門研修指導医：楠戸　和仁（麻酔，集中治療）
岡田　昌平（麻酔，ペインクリニック）
藤井　美江（麻酔）
郷原　徹（麻酔，集中治療）
小野　和身（麻酔，集中治療）
木田　好美（麻酔，集中治療）

認定病院番号　643

特徴：婦人科腹腔鏡手術では世界的に有名な病院.
DaVinci3台（Xi1台，Sp1台，Five1台），Hinotori 1台稼働中.
婦人科，泌尿器科，呼吸器，消火器外科のロボット手術も週20件以上あり，腹腔鏡手術の麻酔管理に精通できる.

岡山旭東病院

研修実施責任者：安川　毅
専門研修指導医：安川　毅（麻酔，集中治療）
西田　静香（麻酔，集中治療）

認定病院番号 1461

特徴：脳神経外科の麻酔，　整形外科麻酔（神経ブロック）

総合病院岡山協立病院

研修実施責任者：坂下　臣吾

専門研修指導医：坂下　臣吾（麻酔）

認定病院番号：621

特徴：集中治療のローテーション可能.

緩和ケアのローテーション可能.

救急部のローテーション可能.

竜操整形外科病院

研修実施責任者：松三　昌樹

専門研修指導医：松三　昌樹（麻酔）

高田　研（麻酔）

葉山　智子（麻酔）

認定病院番号:1492

特徴：整形外科全般の手術の麻酔，周術期管理.

尾道市立市民病院

研修実施責任者：突沖　満則

専門研修指導医：突沖　満則（麻酔）

白石　建輔（麻酔，集中治療）

荒井　恭子（麻酔）

認定病院番号:878

特徴：緊急手術症例も豊富.

脳神経センター大田記念病院

研修実施責任者：田中　千春

専門研修指導医：田中　千春（麻酔）

認定病院番号:1457

特徴：当院は開院以来，脳神経疾患・脳血管疾患の診療に積極的に取り組んでいる.

脳神経外科の手術実施数は年間200件以上におよび，開頭手術症例も豊富である.

興生総合病院

研修実施責任者：河村　茂雄

専門研修指導医：河村　茂雄（麻酔，救急）
進　吉彰（麻酔，集中治療）

認定病院番号　490

特徴：集中治療のローテーション可能.
ペインクリニックの研修可能.
地域の災害拠点病院.

国家公務員共済組合連合会　呉共済病院

研修実施責任者：永田　紗弥子

専門研修指導医：永田　紗弥子（麻酔，ペインクリニック，集中治療）
川久保　弥知（麻酔，集中治療）

認定病院番号:290

特徴：地域医療支援病院，がん診療連携拠点病院，災害拠点病院であり，二次医療圏内で腎疾患診療が当院に集約されている.

姫路聖マリア病院

研修実施責任者：若林　隆信

専門研修指導医：若林　隆信（麻酔，集中治療，蘇生）
内海　潤（麻酔，集中治療，蘇生）
高橋　正裕（緩和ケア）
田口　祥子（麻酔）
藤代　聖子（麻酔，集中治療）

認定病院番号:1063

特徴：姫路市の中核病院で，ベッド数390床，重症身障害児者施設80床を併設しています．消化器外科・胸部外科・整形外科・泌尿器科・産婦人科・耳鼻咽頭科・形成外科・小児外科の手術があり，硬膜外麻酔・神経ブロックを併用した全身麻酔を多く行っています．帝王切開は多数行われています．小児外科・形成外科・耳鼻科が乳幼児の手術を行っています．重症身障害児者の入所施設があり，高度な気道・循環管理が要求されます．救急搬送を年間1700例受け入れており，HCUでは重症者術後管理，呼吸器・循環器救急の集中治療の症例を経験できます.

高砂市民病院

研修実施責任者：築地　崇

専門研修指導医：築地　崇（麻酔）

認定病院番号:1172

特徴：ほとんどの症例で神経ブロックを併用しています．現在，麻酔科管理手術はあまり多くないため比較的時間的余裕のある中で，基本的な四肢・体幹の神経ブロック手技が学べます．

医療法人新松田会　愛宕病院

研修実施責任者：武田　明雄

専門研修指導医：武田　明雄（麻酔）

杉本　清治（麻酔）

佐藤　正樹（麻酔，ペインクリニック）

認定病院番号　1691

特徴：脊椎手術および脳神経外科手術の研修可能．

住友別子病院

研修実施責任者：渡邊　興次

専門研修指導医：渡邊　興次（麻酔，ペインクリニック）

牧野　佐和（麻酔）

井石　貴子（麻酔）

麻酔科認定病院番号：465

特徴：地域の中核病院であり，ハイリスク症例，高齢症例，緊急手術など多数経験できる．

社会医療法人三栄会ツカザキ病院

研修実施責任者：垣内　好信

専門研修指導医：垣内　好信（麻酔）

木村　幸平（麻酔）

中西　万貴（麻酔）

認定病院番号:1524

特徴：兵庫県中播磨・西播磨の地域中核病院として，心臓血管手術，脳神経外科手術，透視下での神経ブロック症例等を多く研修することができる．救急・集中治療に関する豊富な経験が可能である．

静岡県立静岡がんセンター

研修実施責任者：安藤　憲興

専門研修指導医：安藤　憲興（麻酔，集中治療）
玉井　直（麻酔，集中治療）
江間　義朗（麻酔，ペインクリニック）
籾山　幸紀（麻酔）
長崎　晶美（麻酔）
小石川　亜矢（麻酔）
山下　麻子（麻酔）
井出　利恵（麻酔）
山口　貴章（麻酔）

認定病院番号：972

特徴：全国第3位のがん手術件数を実施，原則として成人がんの手術のみを行う。代表的な手術は以下のとおりである．

ダヴィンチ・ヒノトリ手術（直腸・結腸，前立腺・腎，胃，膵臓，子宮，肺・縦郭，咽頭，食道）　週15件以上．

胸部外科（肺・縦郭・食道）　週10件程度．

開頭術　週2件程度（覚醒下脳腫瘍手術　月2件程度）．

三重大学医学部附属病院

研修実施責任者：賀来　隆治

専門研修指導医：賀来　隆治（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
横地　歩（麻酔，ペインクリニック）
坂倉　庸介（麻酔）
小野　大輔（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
松原　貴子（緩和医療）
竹口　有美（緩和医療）
坂本　正（麻酔，ペインクリニック）
生川　未菜（麻酔）
山﨑　貴史（麻酔）

認定病院番号：163

特徴：すべての外科系診療科が揃っており，年間6,000例以上の麻酔科管理症例があるため，専門医の取得に必要な症例を豊富に経験できる．また新生児の手術，超高齢者に対する心臓血管デバイス治療など，幅広い症例を経験する事が可能である．硬膜外麻酔，神経ブロックなど区域麻酔を積極的に併用しており，早期に手技を身につける

ことができる環境である．手術麻酔だけで無く，集中治療，ペインクリニック，緩和医療の研修も可能である．

亀田総合病院

研修実施責任者：植田　健一

専門研修指導医：植田　健一（麻酔）
吉沼　裕美（麻酔，ペインクリニック）
室内　健志（麻酔）
中澤　遥（麻酔）
林　淑朗（麻酔，集中治療）
河野　宏之（麻酔）
柘植　雅嗣（麻酔）
竹原　由佳（麻酔）
劉　丹（麻酔）
加納　美咲（麻酔）
藤井　真理映（麻酔）
荻野　仁史（麻酔）
藤本　萌子（麻酔，ペインクリニック）

認定病院番号:367

特徴：千葉県南房総地区において中心的な役割を果たす施設．早くから米国式研修医システムを取り入れ，研修医を育てることを得意とする病院施設である．外科においては，心臓手術，呼吸器外科，食道外科をはじめとする高度医療から一般外科まで幅広く手術症例があり，年間1万例以上の手術件数を誇る．ペインクリニック認定施設でもあり，他に，当院にて集中治療，救急医療のローテーションも可能となっている．集中治療科は，クローズド・システムの内科・外科混合のICUを管理し，24時間365日シフト制で集中治療専門医の指導のもと診療にあたる．

川崎医科大学附属病院

研修実施責任者：戸田　雄一郎

専門研修指導医：戸田　雄一郎（麻酔，集中治療，ペインクリニック）
佐藤　健治（麻酔，ペインクリニック）
前島　亨一郎（麻酔，集中治療）
谷野　雅昭（麻酔，集中治療，感染管理）
黒田　浩佐（麻酔，集中治療）

櫻井　由佳（麻酔，集中治療）
池本　直人（麻酔，集中治療）
作田　由香（麻酔，ペインクリニック）

認定病院番号　77

特徴：心臓血管手術，脳神経外科手術，呼吸器外科手術，腹腔鏡下手術（ロボット支援下手術を含む），婦人科手術，小児症例など，幅広い症例を研修することができる．救急に力を入れている病院であり，緊急症例の麻酔管理なども経験できる．また，ICU も麻酔科が管理しており，集中治療の研修も充分行える．ペインクリニック外来，緩和医療，和痛分娩などの研修も可能である．

島根大学医学部附属病院

研修実施責任者：二階　哲朗

専門研修指導医：二階　哲朗(麻酔，集中治療，ペインクリニック，緩和ケア)
豊田　浩作（麻酔）
三原　亨（集中治療）
本岡　明浩（麻酔）
太田　淳一(集中治療，麻酔)
横井　信哉（麻酔）
橋本　愛（麻酔）
蓼沼　佐岐（麻酔，ペインクリニック，緩和ケア）
森　英明（麻酔，集中治療）
片山　望（麻酔，集中治療）
河原　卓美（集中治療）
田村　花子(麻酔，ペインクリニック，緩和ケア)
太田　絢子（麻酔）
青山　由紀（麻酔）
延原　英介（麻酔，集中治療）
松尾　輝政（麻酔）
宇賀田　圭（麻酔，集中治療）

認定病院番号：202

特徴：島根大学病院麻酔科では，周術期および重症患者の全身管理を担うプロフェッショナルとして麻酔科医が中心的役割を果たしている．手術麻酔では，高侵襲手術，心臓手術，脳神経外科手術，小児外科，緊急手術など幅広い症例を経験できる．さらに術前評価と最適化を行う周術期支援センターや周術期管理チームに参画し，術前から術後まで一貫した管理を学ぶことが可能である．加えて，集中治療領域では多様な

重症患者の管理を経験でき，希望に応じてペインクリニックや緩和医療にも専門的に関わることができる．本プログラムでは広く全身管理のプロフェッショナルを目指すプログラムとなっている．

昭和医科大学病院

研修実施責任者：大江　克憲

専門研修指導医：大江　克憲（心臓麻酔，小児心臓麻酔，集中治療）
加藤　里絵（産科麻酔，手術麻酔）
小谷　透（集中治療）
米良　仁志（ペインクリニック）
尾頭　希代子（呼吸管理，心臓麻酔，集中治療）
細川　幸希（産科麻酔，手術麻酔）
小林　玲音（ペインクリニック，手術麻酔）
石田　裕介（心臓麻酔，手術麻酔，集中治療）
五十嵐　友美（集中治療）
原　詠子（ペインクリニック，手術麻酔）
泰地　沙季（手術麻酔）
佐々木　友美（手術麻酔）
五反田　倫子（産科麻酔，手術麻酔）
落合　弦（産科麻酔，手術麻酔）
飯島　香子（産科麻酔，手術麻酔）
髙橋　有里恵（小児心臓麻酔，手術麻酔）
羽二生　毬子（手術麻酔）

認定病院番号:33

特徴：手術症例が豊富で専門医取得に必要な特殊症例が当施設で研修できます．食道手術，肝臓手術，呼吸器外科手術などの麻酔管理を十分に経験でき，心臓血管外科も成人と小児の両方を数多く行っています．手術麻酔に加えてペインクリニック，無痛分娩（産科麻酔），集中治療，緩和医療などのサブスペシャルティの研修も可能です．多職種による術前外来も開設しており，専門医が習得すべき周術期管理をバランス良く学べます．

昭和医科大学横浜市北部病院

研修実施責任者：信太　賢治

専門研修指導医：信太　賢治　　（麻酔全般，ペインクリニック）

岡本　健一郎　（緩和医療，ペインクリニック）
西木戸　修　（緩和医療，ペインクリニック）
坂本　篤紀　（麻酔全般，心臓麻酔）
山村　彩　（麻酔全般）
釋尾　知春　（麻酔全般，神経ブロック，経食道心エコー）
髙橋　健一　（麻酔全般，心臓麻酔）
道姓　拓也　（麻酔全般，心臓麻酔）
荘田　博朗　（麻酔全般）
津島　佑季子　（麻酔全般）
谷本　翔太　（麻酔全般）
松土　桜子　（麻酔全般）
平井　顕　（麻酔全般）
小野　沙恵　（麻酔全般）

認定病院番号:928

特徴：手術麻酔では外科系各科のバランスのとれた豊富な症例数があるため，当院だけでも麻酔科専門医試験に必要な症例数を担当することができます．病院毎の手術症例の違いやサブスペシャルティ領域としての集中治療やペインクリニックの研修を含めて，昭和医科大学病院麻酔科を初めとした多彩な連携病院でオーダーメイドのローテーションを行います.

東京女子医科大学病院

研修実施責任者：長坂　安子

専門研修指導医：長坂　安子（麻酔）
黒川　智（麻酔）
尾崎　恭子（麻酔）
鈴木　康之（麻酔）
笹川　智貴（麻酔，ペインクリニック）
吉谷　健司（麻酔）
土井　健司（麻酔）
石川　高　（麻酔）
古井　郁恵（麻酔）
森脇　翔太（麻酔）
武石　健太（麻酔）
中澤　莉沙（麻酔）
加賀屋　菜々（麻酔）

鈴木　真也（麻酔）
川本　英智（麻酔）
羽二生　顕（麻酔）

認定病院番号:32

特徴：豊富な症例数を背景として包括的な麻酔研修・ペインクリニック・緩和ケアの研修も可能です．心臓麻酔研修は特に力を入れており，心臓麻酔専門医の取得も可能です．多種の臓器移植（心臓・腎臓）や合併症（先天性心疾患等）妊娠の管理，エコーガイド下ブロック麻酔研修など様々なスペシャリティに対応します．

5. 専攻医の採用と問い合わせ先

① 採用方法

専攻医に応募する者は，日本専門医機構に定められた方法により，期限までに（2026年10月ごろを予定）志望の研修プログラムに応募する．

② 問い合わせ先

本研修プログラムへの問い合わせは，岡山大学学術研究院医歯薬学域 麻酔・蘇生学教室ホームページ上の岡山大学病院麻酔科専門研修プログラムページ，電話，e-mailのいずれの方法でも可能である．

岡山大学病院　麻酔科蘇生科 医局長　金澤　伴幸
岡山県岡山市北区鹿田町2-5-1
TEL 086-235-7778
E-mail　okamasui@okayama-u.ac.jp
Website　http://www.okadaimasui.com

6. 麻酔科医資格取得のために研修中に修めるべき知識・技能・態度について

① 専門研修で得られる成果（アウトカム）

麻酔科領域の専門医を目指す専攻医は，4年間の専門研修を修了することで，安全で質の高い周術期医療およびその関連分野の診療を実践し，国民の健康と福祉の増進に寄与することができるようになる．具体的には，専攻医は専門研修を通じて下記の4つの資質を修得した医師となる．

1）十分な麻酔科領域，および麻酔科関連領域の専門知識と技能
2）刻々と変わる臨床現場における，適切な臨床的判断能力，問題解決能力
3）医の倫理に配慮し，診療を行う上での適切な態度，習慣
4）常に進歩する医療・医学に則して，生涯を通じて研鑽を継続する向上心

麻酔科専門研修後には，大学院への進学やサブスペシャルティ領域の専門研修を開始する準備も整っており，専門医取得後もシームレスに次の段階に進み，個々のスキルアップを図ることが出来る．

② 麻酔科専門研修の到達目標

国民に安全な周術期医療を提供できる能力を十分に備えるために，研修期間中に別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた専門知識，専門技能，学問的姿勢，医師としての倫理性と社会性に関する到達目標を達成する．

③ 麻酔科専門研修の経験目標

研修期間中に専門医としての十分な知識，技能，態度を備えるために，別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた経験すべき疾患・病態，経験すべき診療・検査，経験すべき麻酔症例，学術活動の経験目標を達成する．

このうちの経験症例に関して，原則として研修プログラム外の施設での経験症例は算定できないが，地域医療の維持など特別の目的がある場合に限り，研修プログラム管理委員会が認めた認定病院において卒後臨床研修期間に経験した症例のうち，専門研修指導医が指導した症例に限っては，専門研修の経験症例数として数えることができる．

7. 専門研修方法

別途資料**麻酔科専攻医研修マニュアル**に定められた 1）臨床現場での学習，2）臨床現場を離れた学習，3）自己学習により，専門医としてふさわしい水準の知識，技能，態度を修得する．

8. 専門研修中の年次毎の知識・技能・態度の修練プロセス

専攻医は研修カリキュラムに沿って，下記のように専門研修の年次毎の知識・技能・態度の到達目標を達成する．

専門研修 1 年目

手術麻酔に必要な基本的な手技と専門知識を修得し，ASA-PS 分類 1〜2 の患者の通常の定時手術に対して，指導医の指導の元，安全に周術期管理を行うことができる．

専門研修 2 年目

1 年目で修得した技能，知識をさらに発展させ，全身状態の悪い ASA-PS 分類 3 の患者の周術期管理や ASA-PS 分類 1〜2 の緊急手術の周術期管理を，指導医の指導のもと，

安全に行うことができる.

専門研修 3 年目

心臓外科手術，胸部外科手術，脳神経外科手術，帝王切開手術，小児手術などを経験し，さまざまな特殊症例の周術期管理を指導医のもと，安全に行うことができる．また，ペインクリニック，集中治療，救急医療など関連領域の臨床に携わり，知識・技能を修得する．

専門研修 4 年目

3 年目の経験をさらに発展させ，さまざまな症例の周術期管理を安全に行うことができる．基本的にトラブルのない症例は一人で周術期管理ができるが，難易度の高い症例，緊急時などは適切に上級医をコールして，患者の安全を守ることができる．

9. 専門研修の評価（自己評価と他者評価）

① 形成的評価

- 研修実績記録 : 専攻医は毎研修年次末に，**専攻医研修実績記録フォーマット**を用いて自らの研修実績を記録する. 研修実績記録は各施設の専門研修指導医に渡される．
- 専門研修指導医による評価とフィードバック : 研修実績記録に基づき，専門研修指導医は各専攻医の年次ごとの知識・技能・適切な態度の修得状況を形成的評価し，**研修実績および到達度評価表**，**指導記録フォーマット**によるフィードバックを行う. 研修プログラム管理委員会は，各施設における全専攻医の評価を年次ごとに集計し，専攻医の次年次以降の研修内容に反映させる．

② 総括的評価

研修プログラム管理委員会において，専門研修 4 年次の最終月に，**専攻医研修実績フォーマット**，**研修実績および到達度評価表**，**指導記録フォーマット**をもとに，研修カリキュラムに示されている評価項目と評価基準に基づいて，各専攻医が専門医にふさわしい①専門知識，②専門技能，③医師として備えるべき学問的姿勢，倫理性，社会性，適性等を修得したかを総合的に評価し，専門研修プログラムを修了するのに相応しい水準に達しているかを判定する．

10. 専門研修プログラムの修了要件

各専攻医が研修カリキュラムに定めた到達目標，経験すべき症例数を達成し，知識，技能，態度が専門医にふさわしい水準にあることが修了要件である．各施設の研修実施

責任者が集まる研修プログラム管理委員会において，研修期間中に行われた形成的評価，総括的評価を元に修了判定が行われる．

11. 専攻医による専門研修指導医および研修プログラムに対する評価

専攻医は，毎年次末に専門研修指導医および研修プログラムに対する評価を行い，研修プログラム管理委員会に提出する．評価を行ったことで，専攻医が不利益を被らないように，研修プログラム統括責任者は，専攻医個人を特定できないような配慮を行う義務がある．

研修プログラム統括管理者は，この評価に基づいて，すべての所属する専攻医に対する適切な研修を担保するために，自律的に研修プログラムの改善を行う義務を有する．

12. 専門研修の休止・中断，研修プログラムの移動

① 専門研修の休止

- 専攻医本人の申し出に基づき，研修プログラム管理委員会が判断を行う．
- 出産あるいは疾病などに伴う 6 ヶ月以内の休止は 1 回までは研修期間として認める．
- 最終的に到達目標を達成するまで，下記の理由で研修の休止をした場合は，連続して 2 年までを限度として研修終了の猶予期間を設けることができる．
  (1) 妊娠・出産・育児・介護あるいは長期療養のため (2) 海外に居住したとき
  (3) 基礎医学や他の臨床医学の大学院において専従して研究活動を行ったとき
- 6 ヶ月を超える休止期間は研修期間に含まれない．研修プログラムの休止回数に制限はなく，休止期間が連続して 2 年を越えていなければ，休止以前の研修実績は認められ，通算して 4 年の研修期間を満たせばプログラムを修了したものとみなす．連続して 2 年を越える期間，研修プログラムを休止した場合は，それまでの研修期間は認められない．ただし，地域枠コースを卒業し医師免許を取得した者については，卒後に課せられた義務を果たすために特例扱いとし 2 年以上の休止を認める．（日本麻酔科学会の規定に従う．）
- また，研修プログラム統括責任者は研修プログラム管理委員会の承認を持って，専攻医の研修に必要な場合は，研修プログラムの専門研修連携施設を追加あるいは変更を日本専門医機構の麻酔科領域研修委員会に通知し，委員会の認定を得られた場合には追加あるいは変更をすることができる．

② 専門研修の中断

- 専攻医が専門研修を中断する場合は，研修プログラム管理委員会を通じて日本専門医機構の麻酔科領域研修委員会へ通知をする．
- 専門研修の中断については，専攻医が臨床研修を継続することが困難であると判

断した場合，研修プログラム管理委員会から専攻医に対し専門研修の中断を勧告できる．

③　研修プログラムの移動

- 専攻医は，やむを得ない場合，研修期間中に研修プログラムを移動することができる．その際は移動元，移動先双方の研修プログラム管理委員会を通じて，日本専門医機構の麻酔科領域研修委員会の承認を得る必要がある．麻酔科領域研修委員会は移動をしても当該専攻医が到達目標の達成が見込まれる場合にのみ移動を認める．

13. 地域医療への対応

本研修プログラムの連携施設には，地域医療の中核病院として広島市立広島市民病院，福山市民病院，津山中央病院など幅広い連携施設が入っている．医療資源の少ない地域においても安全な手術の施行に際し，適切な知識と技量に裏付けられた麻酔診療の実施は必要不可欠であるため，専攻医は，大病院だけでなく，地域での中小規模の研修連携施設においても一定の期間は麻酔研修を行い，当該地域における麻酔診療のニーズを理解する．

14. 専攻医の就業環境の整備機能（労務管理）

研修期間中に常勤として在籍する研修施設の就業規則に基づき就業することとなる．専攻医の就業環境に関して，各研修施設は労働基準法や医療法を順守することを原則とする．プログラム統括責任者および各施設の研修責任者は専攻医の適切な労働環境（設備，労働時間，当直回数，勤務条件，給与なども含む）の整備に努めるとともに，心身の健康維持に配慮する．

年次評価を行う際，専攻医および専門研修指導医は研修施設に対する評価（Evaluation）も行い，その内容を専門研修プログラム管理委員会に報告する．就業環境に改善が必要であると判断した場合には，当該施設の施設長，研修責任者に文書で通達・指導する．